

『レッドネック』 相場 英雄 / 著 角川春樹事務所 (分類:Fア)

米系大手広告代理店に勤務する矢吹蛍子は、バンクーバーに住む謎のデータサイエンティスト・ケビン坂田に極秘プロジェクトへの協力を取り付けるが…。そのプロジェクトの中味とは? 『ランティエ』連載に書き下ろしを追加。



『あるヤクザの生涯』 石原 慎太郎 / 著 幻冬舎 (分類:Fイ)

最大の武器は知力と色気、そして暴力! 特攻隊員、愚連隊、安藤組組長、映画俳優…。昭和の一時代、修羅に生きた男・安藤昇の破天荒な生き様をモノログで描ききるノンフィクションノベル。



『火車の残花』 神永 学 / 著 集英社 (分類:Fカ)

次々と人を殺す妖怪「火車」。そして幽霊に取り憑かれた少年。ふたつの事件に繋がりががあると睨んだ赤眼の憑きもの落とし・浮雲は、調べを進める。やがて点と点が繋がった時、衝撃の真相が…。『小説すばる』掲載を単行本化。



『なぜ秀吉は』 門井 慶喜 / 著 毎日新聞出版 (分類:Fカ)

朝鮮出兵は歴史的快挙か、天下の愚策か-。わずか6年半だけの主都となった名護屋を舞台に繰り広げられた、天下人・秀吉の最期の仕事と人間ドラマを描く。『サンデー毎日』連載に加筆修正して単行本化。



『水を縫う』 寺地 はるな / 著 集英社 (分類:Fテ)

男なのに刺繍が好きな弟。女なのにかわいいものが苦手な姉。愛情豊かな親になれなかった母…。世の中の普通や当たり前を問い直す、6人の家族の物語。『小説すばる』連載を書籍化。



『Day to Day』

講談社／編 講談社 (分類:Fデ)

コロナ禍に集った小説家 100 人が綴る、2020 年 4 月 1 日以降の日本。掌編・エッセイを日付順に収録する。愛蔵版「Day to Day」と漫画集「MANGA Day to Day」と同時刊行。



『カード師』

中村 文則／著 朝日新聞出版 (分類:Fナ)

占いを信じていない占い師、そして客を翻弄する違法カジノのディーラーでもある「僕」はある組織から依頼され、正体を隠して奇妙な資産家の顧問占い師になるが…。『朝日新聞』連載に加筆して単行本化。



『ヒポクラテスの悔恨』

中山 七里／著 祥伝社 (分類:Fナ)

これから一人だけ誰かを殺す。自然死にしか見えないかたちで。日本の司法解剖の問題点を厳しく指摘した浦和医大の光崎教授に犯行予告が届く。悪意に潜む“因縁”とは…!? 『小説 NON』掲載を書籍化。



『植物忌』

星野 智幸／著 朝日新聞出版 (分類:Fホ)

アイビーを体に生やして着飾るうちに植物化した人間たちの幸福な未来を描いた「スキン・プランツ」、蜂起する植物たちと特殊作業員ネオ・ガーデナーが対峙する「始祖ダチュラ」…。書きおろしを含む全 11 編の植物小説集。



『月下のサクラ』

柚月 裕子／著 徳間書店 (分類:Fユ)

事件現場で収集した情報を解析・プロファイリングする機動分析係に配属された森口泉は、早速当て逃げ事件の捜査を開始。そんな折、会計課の金庫から約 1 億円が盗まれていることが発覚し…。『アサヒ芸能』連載を加筆訂正。



『いのちの停車場』

南 杏子／著 幻冬舎 (分類:BF ミ)

東京の救命救急センターで働いていた 62 歳の医師・咲和子は、故郷の金沢に戻り訪問診療医になり、現場での様々な涙や喜びを通して在宅医療を学んでいく。一方、家庭では、自宅で死を待つだけとなった父から安楽死を望まれ…。



『幕張少年マサイ族』

椎名 誠／著 東京新聞 (分類:914 シ)

シーナ少年が「草原」を飛び回ったあの頃-。椎名誠が千葉に越してきた 5 歳ごろから少年時代までの印象的な出来事を記した自伝エッセイ。『東京新聞』連載に加筆修正し単行本化。



『杉原千畝とコルベ神父』

早乙女 勝元／著 新日本出版社 (分類:209 サ)

ユダヤ人救出に力を尽くした日本の外交官を体験者の証言で紹介する「生命をみつめる」と、アウシュビッツで友の身代りに処刑された神父の物語「コルベ神父」。ナチスの狂気の戦争に抗う 2 作品を収録する。



『老いの福袋』

樋口 恵子／著 中央公論新社 (分類:367 ヒ)

老年よ、大志とサイフを抱け! 「調理定年」してもいい! 介護され上手になろう! 老いの時期を楽しく快適にするアイデアや、ちょっぴり怖い現実、超高齢社会の課題を乗り越える知恵などを綴った書き下ろし痛快エッセイ。



『ありがとう。また逢えるよね。』

横田 晴正／著 双葉社 (分類:645 ヨ)

先立ったペットは、いつもあなたの心の中で一緒に人生を歩んでいます-。動物が好きでペット霊園を設立した僧侶が、ペットロスについて解説し、ペットを喪った人へメッセージを送ります。ペットの供養 Q&A も収録。



新しく入った 児童図書・YA
(5/30) 予約受付いたします!

『ことりのぴーと』

ディック・ブルーナ／ぶん・え 福音館書店 (分類:Eブ)

「ぼくにもはねがあったらなあ」 はねのない、ことりのぴーと。ぴーとの友だちには、みなきれいな色のはねがあります。ぴーとは悲しくなりました。そこで、友だちがぴーとのためにあることを思いつき…。

(幼児～)



『そのときがくるくる』 すず きみえ／作 文研出版 (分類:913 ス)

誰にでも嫌いなものってあるよね。きみはどう? ぼくにはあるよ。どうしても食べられないもの。おじいちゃんは「今は嫌いでも、いつかきっとおいしく食べられるときがくるさ」っていうけど…。

(小学校低学年～)



『サンドイッチクラブ』 長江 優子／著 岩波書店 (分類:913 ナ)

夏休み、小学6年生の珠子は、無心に砂像を作るヒカルと出会う。強烈な個性をもち、成績もトップクラスのヒカルは「戦争をなくすためにアメリカの大統領になる」と言い…。新たな世界に向きあっていく少女たちの成長物語。

(小学校高学年～)



『カラスのいいぶん』 嶋田 泰子／著 童心社 (分類:488 シ)

カラスは、ごみを散らかす嫌われもの!? でも、カラスにも、いいたいことがあるみたいで…。ハシブトガラスを主人公に、ひとの近くで生きることを選んだカラスの生活を追います。

